

シンプルだからこそ長寿命、 本物のヒノキが香る家。



敷地に近づくだけでヒノキの香りがするK様邸。
床組は能登ヒバ、柱や筋交いは東濃ヒノキを使う。

現代の木造住宅はすいぶんとややこしい作り方になってきたような気がします。構造計算をしてまで細い柱で家の構造を作り、シロアリが怖いからと防腐・防蟻材を注入し、地震のときが心配だからと金物や合板で補強していく・・・。

一見よさそうに思えますが、元々の材料（ホワイトウッド・合板・集成材）が湿気やシロアリに弱いのにいくら金物で補強しても、家の構造を支えている木材が腐ってしまえば手の施しようがありません。

私たちの家に対する考え方は
非常にシンプルです。

- ①湿気やシロアリに強いヒノキと能登ヒバの無垢材を使う。
- ②地震国・日本で培われた実績のある木の組み方。
- ③湿気で剥離しやすい合板や集成材は一切使わない。
- ④基礎はできる限り高くする。
- ⑤木の防虫成分が揮発する人工乾燥ではなく、天然乾燥を行う。

すべては先人の知恵ですが、作りがシンプルな家はメンテナンスもやすく長寿命に繋がります。いずれは揮発してしまい健康にも問題のある薬剤には一切頼らずに、木が本来持っている力を最大限に活かすことで、芳醇な木の香りと家の丈夫さが両立できるのです。シンプルな家の作りとヒノキの香りを現地で確かめてみて下さい。

沢野建設工房

構造見学会

11/14(土)・15(日)

午前10時～午後5時

七尾市小丸山台1丁目 K 様邸



能登ヒバの床組
「ヒバ普請の家には蚊が寄りつかない」といわれるほどの防虫効果を発揮してくれます。薬剤なしでウッドデッキに使われるほど湿気に強いのも自慢です。

2階小屋裏の木組み
築数百年のお寺と同じように丸太梁を互いにかみ合わせることで水平剛性を取っています。その強度と耐久性は歴史が実証済です。



天然乾燥させたヒバとヒノキが
大切なあなたの家を守り続けます。



屋根の軒
壁のラインから90センチも出ているので、強風でも大切な外壁を湿気から守り、建物の寿命を延ばします。雨の多い北陸でも安心です。



軒を出すと積雪の重さで屋根が折れる心配も出てきますが、18センチ間隔と非常に細かく入れた屋根垂木が積雪を確実に支えてくれます。



敷地の高低差があるため建物の基礎は道路からおよそ1.5mと高くして、地面からの湿気を排除しています。

つ木幸
くでせ
る。は、



株式会社 沢野建設工房

〒929-1122 石川県かほく市七穂ホ5-1
TEL 076-283-3360 FAX 076-283-8266

沢野